

1 宮城県石巻西高等学校 Can-Do List

GRADE	外国語表現の能力		外国語理解の能力	
	Speaking	Writing	Listening	Reading
2	学校や身の回りに関する自分の考えを英語で言うことができる。	身近な話題について、簡単な英語で5～6文程度書くことができる。	日本人の先生による簡易な英語の指示を理解できる。	単純な英文で書かれた、ある程度まとまった文章を、辞書や写真等のヒントがあれば概要や要点（出来事のつながり）を理解することができる。

2 単元名 コミュニケーション英語 II（桐原書店 “WORLD TREK English Communication II” Lesson 7 The Origins of Halloween）

3 単元の目標

- (1) ハロウィーンの祭りについて、起源や祭りのようすを読み取ることができる。【理解の能力】
- (2) 国内外の「祭り」について調べ、クラスに紹介することができる。【表現の能力】
- (3) the+形容詞[分詞]，関係副詞 when，複合関係詞 wherever/whenever/however の用法を理解できる
【言語や文化についての知識・理解】
- (4) ハロウィーンを祝うことや、ハロウィーンに行くさまざまな風習の起源や目的について理解しようとしている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

4 指導にあたって

(1) 単元について

10月31日はハロウィーンとして広く知られており、最近では日本でも若者や子育て世代を中心に定着してきている。しかし、その祭りの起源は知られていない。この単元を通して、祭りが始まった理由や後に世界中に広まっていった経緯を学習し、学習者の異文化に対する理解を高めるきっかけとしたい。

(2) 生徒の実態

普段から使われる classroom English を理解できる生徒が多い。また、英文は何度か聞いたり読んだりすることで、概要を理解できる場合が多い。生徒の多くは基本的な文法事項を理解しているが、一定量の英文を読むこと、疑問詞が含まれるなど、やや複雑な問いかけの聞き取り、実際に英作文や発話を行う表現活動は苦手としている。

(3) 指導について

発話する機会と英語に親しむ雰囲気を作り、間違いを恐れぬよう指導している。本文理解の際に、細切れに内容についての質問を投げかけ、聞くこと、読むことへの苦手意識を緩和するよう指導している。またウォームアップやパフォーマンステストの準備時間を通して、書く、話すといった表現活動にも取り組ませている。ペアやグループワークでは、一度生徒自身で考えさせてから答えを示すことで、学習内容の定着が図れるよう心掛けている。

5 単元の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
ハロウィーンを祝うことや、ハロウィーンに行うさまざまな風習の起源や目的について理解しようとしている。	国内外の「祭り」について調べ、クラスに紹介することができる。	ハロウィーンの祭りについて、起源や祭りのようすを読み取ることができる。	the＋形容詞[分詞]、関係副詞 when, wherever/whenever/however の用法を理解している。

学習活動における具体の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
個人・ペア活動において、積極的に内容を理解しようとしている。	聞き手に伝わるように、「祭り」について書くこと、話すことができる。	英文を読んで、その背景等を理解することができる。	本課の文法項目・語彙について、それらが使われている文の意味・構造が理解できる。

6 単元の指導と評価の計画（全12時間）

	小単元名	学習内容	学習活動における具体的な評価規準	評価方法
第1時 (本時)	Before you read ~ Part 1	Lesson 全体についての導入 Part 1 導入, 語彙, 内容読解	【関心・意欲・態度】積極的に内容を理解しようとし、英語を使用している。 【理解の能力】英文を読んで、その背景等を理解することができる。 【関心・意欲・態度】ペア・グループ活動において、積極的に内容を理解しようとし、積極的に英語を使用している。	観察 ワークシート
第2時	Part 1	内容理解, 音読	【理解の能力】英文を読んで、その背景等を理解することができる。	ワークシート
第3時	Part 2	Part 2 導入, 語彙, 内容理解	【関心・意欲・態度】個人・ペア活動において、積極的に内容を理解しようとしている。 【理解の能力】英文を読んで、その背景等を理解することができる。	観察 ワークシート

第4時	Part 2	内容理解, 音読	【理解の能力】英文を読んで, その背景等を理解することができる。	観察 ワークシート
第5時	Part 2	Part 2 の文法 表現活動	【知識・理解】取り上げられる文法項目について, それらが使われている文の意味・構造が理解できる。 【表現の能力】本課で習った文法を使って, 相手に伝わるように表現できる。	観察 ワークシート
第6時	Part 3	Part3 導入, 語彙, 内容理解	【関心・意欲・態度】個人・ペア活動において, 積極的に内容を理解しようとし, 積極的に英語を使用している。 【理解の能力】英文を読んで, 書き手・話し手の伝えようとする内容を理解することができる。	観察 ワークシート
第7時	Part 3	内容理解, 音読	【理解の能力】英文を読んで, 書き手・話し手の伝えようとする内容を理解することができる。	観察 ワークシート
第8時	Part 3,	Part 3 の文法 表現活動	【知識・理解】取り上げられる文法項目について, それらが使われている文の意味・構造が理解できる。 【表現の能力】本課で習った文法を使って, 相手に伝わるように表現できる。	ワークシート
第9時	Part 4	Part 4 導入, 語彙, 内容理解	【関心・意欲・態度】個人・ペア活動において, 積極的に内容を理解しようとし, 積極的に英語を使用している。 【理解の能力】英文を読んで, 書き手・話し手の伝えようとする内容を理解することができる。	観察 ワークシート
第10時	Part 4	内容理解, 音読	【理解の能力】英文を読んで, 書き手・話し手の伝えようとする内容を理解することができる。	観察 ワークシート
第11時	Part 4	Part 4 の文法 表現活動	【知識・理解】取り上げられる文法項目について, それらが使われている文の意味・構造が理解できる。 【表現の能力】本課で習った文法を使って, 相手に伝わるように表現できる。	ワークシート
第12時	Lesson Summary	パフォーマンス テスト	【表現の能力】聞き手に伝わるように, 「祭り」について書くこと, 話すことができる。	観察

7 本時の指導

(1) 題材名 Lesson 7 The Origins of Halloween (Before You Read & Part 1)

(2) 本時のねらい

- ①Part 1 の概要を理解できるようにする。
- ②概要を理解した文章を音読できるようにする。

(3) 本時の評価規準

評価の観点	具体的評価規準	Aとする具体的な姿	Cの生徒への具体的手立て
関心・意欲・態度	授業に参加し、積極的に内容を理解しようとしている。	積極的に授業に取り組み、教師の質問に対し考えよう、また答えようとしている。	生徒同士で教え合う、また直接指導する。

(4) 学習指導上の工夫

学び合いの雰囲気や、一度は自分たちで考える場面を作り、内容理解を促す。また板書や視覚資料を活用し、内容に対する関心を高めることも心掛けている。概要を理解した状態で音読活動に入り、意味を考えながら読むことができるよう工夫している。

(5) 準備物

教科書、ワークシート、フラッシュカード、視覚資料、タイマー

(6) 本時の展開 (50分)

段階	学習活動と主な発問	形態	指導上の留意点	【評価の観点および方法】
導入 3分	○あいさつ ○本時の目標の確認	一斉	○英語を使う雰囲気を作る。 ○ワークシートを配布し、目標を書かせる。	
展開 ① (20分)	○本課の導入 (1)ハロウィーンについてのクイズ (2)新出単語 (3)Listening	一斉	(1)クイズを生徒に考えさせることで、関心を高める。 (2)フラッシュカードを用いて、発音を中心に指導する。 (3)教科書にスラッシュを入れ、意味のまとまりを捉える。	新出語句を相手に伝わるように発音しようとしている。【表現の能力】
展開 ② (20分)	○Comprehension	一斉	○Comprehension 本文に関する問いを投げかけながら、ノートを取り理	ハロウィーンの背景について内容を理解しよう

	○Reading		解させる。 ○Reading 意味を考えながら全員で音読する。	としている。【理解の能力】
まとめ7分	○今日の目標を振り返る。 ○Writing ○あいさつ	個人 ペア	○今日の目標を確認する。 ○Writing 目標について自分の考えを書かせる。	海外から見た日本文化について、自分なりに考えようとしている。

(7) 板書計画

L5 Today's goal: Know more about Halloween! [新出語句を貼る]